

旭岡



令和7年度 旭岡中学校 学校だより NO.10

函館市西旭岡町3丁目5番地
TEL 50-3609 FAX 50-4412



【重点目標】『自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成』

HP <https://member-asahioka-jh.edumap.jp>

2学期終了にあたって

～冬季休業中も健康・安全第一で～

年の瀬を迎え、何かと慌ただしい毎日をお過ごしのことと存じます。8月末から始まった約4か月間の2学期ですが、12月25日の終業式を終えると、市立の小中学校は一齐に20日間の冬季休業に入ります。

今学期を振り返ると、文化祭等の行事はもちろん、普段の授業や学校生活の中で生徒たちがそれぞれの目標に向かって熱心に取り組む姿が見られました。始業式で生徒たちに「チャレンジすること」を勧めたので、その成果もぜひ聞いてみたいところです。また、熱中症や感染症(インフルエンザ等)、熊の目撃情報、そして先日の後発地震注意情報等、生徒の健康・安全に関わる事が多岐にわたってありました。引き続き危機管理意識を高め学校として適切な対応に努めてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

生きることは食べること、「命」について考える

本校の図書室に『もうじきたべられるほど』[作者：はせがわゆうじ]という絵本があります。(既に読んだ人もいるかもしれませんがね)。かわいい表紙が目にとまり、何気なく手に取りました。本のタイトルにあるように、もうじき食用肉として処分される子牛の目線で語られる短いお話です。読んでみると、みるみるうちに目頭が熱くなり泣きそうになりました。



もう一つ、『銀の匙 Silver Spoon』(作者：荒川 弘)という漫画をご存じでしょうか。2012年のマンガ大賞受賞作で、北海道の農業高校を舞台にした青春物語です。全15巻の中に、主人公の高校生が授業の一環で飼育している子豚に「豚丼(ぶたどん)」と名付け、愛情を注いで世話をするエピソードがあります。やがて立派に育った「豚丼」は、予定通り出荷され食用の肉に加工されるのでした。十勝の農家に生まれ、自身も農業高校で学んだ作者が描くこの作品は、「食」や「命」と真剣に向き合う内容で、私も読みながらいろいろなことを考えさせられました。

家畜(経済動物)である以上、牛も豚も馬も羊もニワトリも目的は皆同じ。寿命を全うすることなく屠殺され、



校長 中田 和子

加工され、私たちの食卓にのぼります。そのことに対する考え方は人それぞれで、何が正解なのか簡単に答えは出せません。ただ、普段当たり前のように食べている肉が食卓に出されるまでに、どんなストーリーがあって、どれだけ人の手がかかっているのかを想像してみるのとは大切なことだと思います。「いただきます」「ごちそうさま」という食事の挨拶には、肉や魚、野菜、果物にも命があると考え、食材への感謝が込められているという説があります。毎日の食事が単なる習慣ではなく、命をつなぐ営みであると子どもたちに伝えることは、「食」への向き合い方を考えるきっかけになるのではないのでしょうか。



余談ですが、私は『孤独のグルメ』というTV番組が好きでよく観ています。松重豊さん演じる主人公の井之頭五郎さんは、食べる前には「いただきます」、食べ終わったあとには「ごちそうさま」と必ず言います。一人で食事を楽しむドラマなので、誰かに対して言っているわけではないのですが、「なんかいいな。」と思いながら毎回観ています。

冬季休業に向けて



2学期そして令和7年の締めくくりにあたり、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力に改めて感謝申し上げます。冬季休業期間はお正月もあり、久しぶりに親戚が集まることもあるかと思えます。ご家族で過ごす時間が楽しいものとなるよう願っています。

長期休業の際にはいつも注意喚起していますが、**スマートフォン**の適切な使い方について、ご家庭でもご協力をお願いします。長時間の使用による生活リズムの乱れ、SNS上のやりとりに関するトラブル、よく知らない相手や危険なサイトとの繋がり等の事例が市内でも見られ、注意が必要です。ご家庭でのルールを今一度、親子でご確認いただければと思います。

1月15日(木)の3学期始業式を全員が元気に迎えられることを心より願っています。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

●ご相談やお問い合わせなどがある場合は、中学校までご連絡ください。※年末・年始学校閉鎖期間(12/29～1/3)を除く平日8:00～16:30

いじめ等の問題について考える集会

12月18日(木)、函館市内すべての中学校の取組として、「いじめ等の問題について考える集会」が行われました。本校は、深堀中・桔梗中・北中・楳法華中とともに5校で一つのブロックを構成し、各校の生徒会役員によるWEB会議を実施しました。

本校ではこれに先立ち、11月28日(金)に全校集会を行い、縦割りグループに分かれて「いじめられている人に気づいたとき、あなたならどうするか」という課題について話し合いました。どのグループでも意欲的な話し合いが行われ、多くの意見が出されました。それらを生徒会総務4名が整理・集約し、さらに生徒会総務内で話し合いを深めた上で、「いじめ等の問題について考える集会」に臨みました。

当日は、まとめた内容や生徒会総務として深めた考えを発表した後、今年度の函館市の共通課題である「いじめの傍観者が、いじめ解決のカギとなるためにはどうしたらよいか」「そのために、傍観者に対してどのように働きかけることができるか」といったテーマについて協議しました。難しいテーマではありましたが、4名それぞれが自分の考えをもって意見を出し合い、話し合いを通して内容をしっかりとまとめ、堂々と発表する姿が印象的でした。



今回の集会で得られた成果は、3学期に全校生徒に還元する予定です。「いじめ」問題の撲滅に向けた大きなきっかけとして、今後の学校生活につなげていきたいと思えます。生徒会総務のみなさん、ありがとうございました。

1年生 アウトリーチ事業「三曲」体験

函館市教育委員会主催の「文化芸術アウトリーチ事業」を活用し、12月4日(木)に、1年生を対象に伝統音楽の学習を行いました。文化芸術活動に携わる専門家の方々をお招きし、「三曲(三味線・琴・尺八)」の体験授業を実施していただきました。

授業では、どの生徒も楽しみながら意欲的に取り組み、日本の伝統楽器の演奏に親しむことができました。講師の方々からも、生徒たちの前向きな姿勢や熱心に学ぶ様子について、お褒めの言葉をいただきました。



性の保健講話

12月19日(金)、5時間目は1年生、6時間目は2年生を対象に、産婦人科の助産師の方を講師にお招きし、「性の保健講話」を行いました。

1年生では、生命の誕生について学びながら、「生命の大切さ」や「自分の命、そして他人の命も同じように大切なものであること」について考えました。また、日常生活の中で大切にしたいパーソナルスペースや、自分や相手を守るために知っておきたいことについてもお話いただきました。

2年生ではさらに一歩踏み込み、「妊娠」や「性感染症」など、成長期に知っておきたい健康に関する内容について学びました。あわせて、将来を見据えた責任ある行動や人との関わり方、デートDV、LGBTQ+など、多様性を尊重することの大切さについても学ぶ機会となりました。

どちらの講話にも、「自分も他人もかけがえのない存在であり、だからこそ大切にしなければならない」というメッセージが一貫して込められていました。普段なかなか聞く機会の少ない内容だったこともあり、生徒たちにとって心に残る、貴重な学びの時間となったようです。



行事予定

- 1 / 1 (木) 元日
学校閉鎖 (~3日(土))
冬季休業 ~14日(水)
- ／ 9 (金) 冬季学習会(午前・図書室)
- ／ 10 (土) 全道リコーダーコンテスト(札幌)
- ／ 12 (月) 成人の日
- ／ 13 (火) 3年生登校日(午前)
- ／ 14 (水) 3年生登校日(午前)
職員会議 校内研修
- ／ 15 (木) 3学期始業式(給食なし)
私立高校推薦入試日
- ／ 16 (金) 私立高校推薦入試合格発表
- ／ 20 (火) スクールカウンセラー来校
- ／ 21 (水) ALT来校
職員会議 校内研修
- ／ 23 (金) 英検1次試験
- ／ 26 (月) 一斉専門委員会
- ／ 30 (金) 新入生入学説明会
公立高等支援学校入試日

休業中の相談窓口のご案内

- 【子ども相談支援センター】0120-3882-56
- 【24時間子供SOSダイヤル】0120-0-78310
- 【北海道いのちの電話】011-231-4343
- 【少年サポートセンター「少年相談110番」】0120-677-110
- 【こころの電話相談】0570-064-556